

Festival de Guitarra in Yokohama Vol.11

ギターアンサンブルフェスティバル

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

2024.

6.22 (土)

13:30 開演 (13:00開場)

会場：杉田劇場 5Fホール



Oriental オリエンタル



Campanilla カンパニージャ



LOS GITANOS ロス・ヒターノス



RioRico リオリコ



Arcángel
ギターカルテット《アルカンヘル》



Bosque de ruiseñor 鶯の森 (うぐいすのもり)



Dunord ドゥノール

第一部：13:30 開演 入場無料 (要予約)
ギターアンサンブル7組

第二部：16:30 開演 前売券4,500円 (当日5,000円)
スペシャルゲストコンサート

待望の再来日!

Gilles Apap

"A true violinist for the 21st Century."
- Yehudi Menuhin

CONCERT
IOLIN PIANO

ジル・アパップ

アルフレッド・オヤグエス

Alfredo Dyagiez

20世紀の最も偉大なヴァイオリニストの一人であるメニューインが絶賛した

主催：カンパニージャ

後援：プリマベラ/アルハンブラギター

協力：横浜市磯子区民文化センター杉田劇場/Festival de Internacional de Música de Deia

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス 共同事業体)

ご予約・お問い合わせ先：☎ 090-5505-8757

campanillaguitarra@gmail.com

第一部のご予約、第二部のチケットご購入はQRコード先の予約フォームから、また第二部チケットは、各種プレイガイド(チケットぴあ、カンフェティ、イープラス)と杉田劇場窓口でもお取り扱いがあります。電話、メールでも受付いたします。

ご予約フォーム

※第一部から第二部を続けてお聴きになる場合は、第一部終演後ステージ準備のため、ホールから退出して頂きます。座ったお席はそのまま確保できますので、第二部の開場時間(16:00予定)以降に、改めてチケットとお引き換えの上、ご入場下さい。



Festival de Guitarra in Yokohama

ギターアンサンブルフェスティバル
Vol.11

2024. **6.22** (土)

会場：杉田劇場 5Fホール

第一部：13:30 開演 (13:00開場)
入場無料 全席自由 (要予約)

1 鶯の森 (うぐいすのもり)
西原 幸一/玉那覇 千賀子/馬場世津子/藤枝 孝/高橋 望

- ・フゲッタBWV.902 (J.S.バッハ~鶯谷の森 編)
- ・タンゴ (I.アルベニス~小胎 剛 編)
- ・秋のスケッチ (藤井大史)

2 ドゥノール ギターアンサンブル
山岡 祐子/小林 政貴/遠藤 静江/木村 美紀子/渡辺 隆

- ・アリア「私の魂は主をあがめ」(G.P.テレマン)
- ・Bitter Sweet Sanba-Mr.Lonely
(Sol Lake-B.Vinton / 加藤繁雄 編)
- ・パリは燃えているか (加古隆 / 渡辺隆 編)

3 ギターカルテット《アルカンヘル》
湯川 賢正/児玉 祐子/丸山 耕太郎/杉本 みどり

- ・歌と踊り第5番「In the rain」(松岡滋)

4 ロス・ヒターノス
手塚 健旨/柴田 杏里/渡辺 隆/榎本 裕之/富川 勝智

- ・クラベリートス (スペイン民謡)
- ・シルクロード (喜多郎)
- ・日本組曲より「ねぶた」(伊福部昭)

5 アンサンブル“ORIENTAL”
1st: 多田 雄子/木村 薫/佐藤 賢吾/平山 哲郎
2nd: 吉原 久美/中川 みのり/藤田 長一/鈴木 潤一
3rd: 寺嶋 まさみ/田中 起始子/高田 英樹
Per: 岩澤 千恵子
指揮: 丸山 耕太郎

- ・BWV1012より「ガボットI&II」(J.S.バッハ)
- ・おてもやん (熊本民謡)
- ・パッサカリア (ポッシュ)

6 ギターアンサンブル“カンパニージャ”
1st: 手塚 健旨/池田 朝喜/杉本 みどり/佐々木 巖/新池彰太
2nd: 湯川 賢正/唐木 順子/田代 由起子/川田 隆夫
佐々木みこと/永井 宏
3rd: 児玉 祐子/斎藤 潔/荒井 啓治/橋本 恵美子
高橋 望/柴田 杏里 (ゲスト)
Bass: 丸山 耕太郎
Per: 高木 洋子/高木茂子

- ・ソナタ短調RV85 (A.ヴィヴァルディ)
- ・サンブラ・グラナディーナ (I.アルベニス)

7 リオリコ ギターアンサンブル
富川勝智/尾野桂子/梅原 晋太郎/三瓶 るり子/清水 博子
杉山 悠也/乃村 佳子/本田 美智子/宮島 幸太郎

- ・聖母の御子 (カタルーニャ民謡/E.S.デ・ラ・マーサ、池田慎司編)
- ・2つのスケッチ (松岡滋)

* 曲目は都合により、変更となる場合がございます。

第二部：16:30 開演 (16:00開場)
前売券4,500円 (当日5,000円) 全席自由

スペシャルゲストコンサート
ジル・アパップ (VI) & アルフレッド・オヤグエス (Pf)
DUO リサイタル

Program

W. A. モーツァルト
W. A. Mozart (1756-1791)
ソナタ K.296
Sonata en Do mayor, K. 296

マヌエル・デ・ファリャ
Manuel de Falla (1876-1946)
スペイン民謡組曲
Suite popular española

G.ガーシュイン
George Gershwin (1898-1937)
3つのプレリュード
3 Preludes

J.ブラームス
Johannes Brahms (1833-1897)
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 Op.78
Sonata n. 1 para violín y piano en sol mayor, Op. 78

ジル・アパップ (ヴァイオリン) <https://gillesapap.com>

ユーディ・メニューインに「21世紀の真のヴァイオリニスト」と評されたジルは、そのヴィルトゥオーソジティ、音楽へのユニークなアプローチ、あらゆるコンサートホールに喜びをもたらす技術で知られている。メニューインとも共演した彼は、クラシックの定番レパートリーに加え、ジャズやフォークなど様々なジャンルを組み合わせさせた独特のスタイルでユニークなプログラムを生み出している。

アルジェリアのフランス人家庭に生まれたジルは、幼い頃から音楽を始め、アメリカに渡った後は、カーティス・インスティテュートで勉強を続け、カリフォルニアに定住することを選んだ。キャリアのごく初期に、彼は商業的な音楽業界の制約から離れることを決意し、独自の道を模索した。

ソリストとしては、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス、サンフランシスコ交響楽団、バンクーバー交響楽団、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ボストン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン交響楽団などと共演。

自身のカルテット「The Colors of Invention」(ヴァイオリン、アコーディオン、コントラバス、チンバロム)では、ヴィヴァルディ、ラヴェル、バルトークのクラシック曲と伝統的な民謡を融合させた室内楽を発表。エスノ・ジャズ・バンド「メドゥオテラン」(ヴァイオリン、アコーディオン、サズ)にも参加し、ヨーロッパ各地のジャズ・フェスティバルなどで演奏している。「トランシルヴァニア・マウンテン・ボーイズ」もジルが結成したクロスオーバー・バンドで、世界各地で演奏し、ソニー・クラシカルから3枚、他レーベルでも多数のCDをリリースしている。この度の待望のヴァイオリニストの演奏は聴き逃さない。

アルフレッド・オヤグエス (ピアノ) www.oyaguez.com

スペイン人のアルフレッド・オヤグエスはマドリッド王立音楽院を卒業し、「高等音楽学位」と「ピアノ教授ディプロマ」を取得した。ポーランドとチェコ共和国に3年間滞在し、「フレデリック・ショパン音楽アカデミー」などでの研鑽を積み、イエール大学で音楽修士号を取得、さらにカリフォルニア大学サンタバーバラ校でも指揮とピアノ演奏の修士号を取得。スペイン・ユース・ナショナル管弦楽団に4年間在籍し、イギリス人指揮者チャールズ・ビーブルスのもとでソリストとして演奏したほか、マラガ市交響楽団、アドリア海室内楽フェスティバル・オーケストラと共演、ピアニスト兼指揮者としてもサンタ・バーバラ・ユース・シンフォニー、"ニュー・プリテン"シンフォニー、フィンランド・ミッケリ室内管弦楽団などと共演している。数々のフェスティバルやコンクールで審査員や演奏者として活動し、その活躍は世界各国に及んでいる。3度目の来日。